**事業所自己評価シート**

**令和４年度**

保護者による評価

Ａ環境面

・環境面で不満の声はなかった。

Ｂ児童への支援内容

・支援計画に対して不満の声はなかった。

・外部と交流しているのか分からない。

Ｃ事業所からの情報発信

・父母会を開催していない。

・支援内容や児童の様子の説明を受けているという回答が多かった。

Ｄ非常対応

・コロナウィルスの感染情報や児童の様子について共有している。

・家庭内の相談ではいつも助かっているという意見もあった。

職員による自己評価

Ａ環境面

・放課後デイで利用している部屋のスペースや職員の配置数が適切でないという回答があったが、感染対策も慣れてきたため外での活動を増やすことを行ったり、活動を分けて部屋のスペースの確保に努めた。

Ｂ児童への支援内容

・活動の事前打ち合わせも今まで以上に子どもの特性を考慮しながら話しあい支援を深めた。

Ｃ関係機関との連携

・カンファレンスを行い関係機関と連携し情報共有しご家族、ご本人への支援を深めた。

Ｄ保護者への説明責任・信頼関係

・子どもの様子、支援のことについて逐一情報共有はできている。またコロナウィルス関連の件で随時感染予防についてお知らせをした。

Ｅ非常対応

・感染予防、災害対策のお知らせを配布した。

・ご家族のレスパイトを目的に法人内の短期入所施設の利用を促した。

事業所内での分析

【共通点】

・適宜ご家族の悩みや相談を受け面談等を行えるよう心掛けている。

・父母会を開催していないこと。

【相違点】

・ご家族から環境面で不満の声はなかったが、事業所の職員がスペース、職員配置について適切でないと声があがった。

分析・検討してみて…

事業所の強み

事業所の改善点

・父母会の開催をしていなかったこと。新規のご家族も増え顔を合わす機会もないため父母会の必要性を感じた。

・夏休み等の長期休みの職員の休憩時間の確保

・緊急時の受け入れ体制ができている。

・非常時、短期入所での対応も可能。

・ご家族の大変な話など聴いて相談しやすい環境を作っている。

・災害時の対策として防災用品の備蓄をしている。

・法人内の作業所やグループホーム見学も可能なため将来展望が描きやすい。

・活動内容の事前打ち合わせでご本人の特性や長所を活かせるようなプログラムの立案を行った。。

・個別支援計画も本人が本当にやりたいこと、やってみたいことなど改めて考えなおし深めた。

・児童やご家族の生きづらさについて話し合い信頼関係を深めた成果か、心の内を見せ本音で相談できるようになったケースもあった。

・感染対策は継続した。

事業所の改善への取り組み

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

・感染対策や、感染した場合のルールを明確にし、ご家族にも伝達していたため2022年6月事業所内でコロナウイルスが発生した際は即座にクローズし保健所などの連絡もスムーズにできた。ただご家族には例年より負担をかけてしまった1年だった。しかし逆にご家族が感染した場合は物資の調達などお手伝いができる範囲のことは実施した。大変な1年だったがお互いが協力し関係を深めることができた1年だったと思う。

事業所名　　うれしの

担当者　福山　悟